

第81号【2014/1/1 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言

『新年のご挨拶』

病院長 田口 進

- 医師の配属・異動・退職
- 診療統計
- 患者さんからのご意見・ご要望
- 医療連携室からのお知らせ
- TOPICS
- 北部イベント
- 編集後記



イルミネーション点灯式の様子

巻頭言

『新年のご挨拶』



病院長 田口 進

皆様には穏やかな新年を迎えられたことと拝察致します。

平成13年4月に開院しました北部病院も14年目の春を迎えます。この間病院の基本理念に沿った医療を行うよう職員一同努力を重ねてまいりました。行政・地域医療機関を始め多くの方々に支援頂き、少しずつではありますが成長することができたと思っております。皆様に感謝致します。

医療を取り巻く環境の変化は大きく、その都度、時代の要求に適した医療の提供、病院運営が求められます。これらの要望に答えるべく平成26年度は大きな事業を計画しております。

当院の手術室は10部屋で運営されており、昨年度は年間7000例を超える手術をこなしました。緊急手術も多く毎日フル稼働で対応しています。それでも年々手術症例が増加し、また、新しい機器を用いた最先端の術式の導入など、高度な医療の質を維持しなければなりません。そのため、今年度は高機能設備を有した部屋を含め手術室を3部屋増築する計画です。

医療の進歩により、各診療科での低侵襲・日帰り手術は今後も増えることが予想されます。患者さんへの負担軽減の為にこの分野にもっと力を注ぐため、小手術室も新設し充実させます。

多くの方々から改善を求められ、永年の課題でもありました中央棟2階の採血室・点滴室を外来化学療法室の隣に移設します。朝の採血室前廊下の混雑で、西棟からの行き来の妨げとなり皆様には大変迷惑をかけておりましたが、部屋の移転でこの混雑も解消されると思います。また、2～3時間かかる外来での点滴注射を静かな部屋で行ってもらう為にもその環境を整備します。

2階の採血・点滴室移転跡に、患者さんからの医療に関わる総ての相談に対応できる総合相談センター（患者支援室）を新設する予定です。今まで1階入口にありました総合相談センターを組み入れ、また各部門別々で対応していた医療に係わる相談を一括して対応する部署とします。この患者支援室に新たに在宅医療を支援する部門を加えます。行政の医療施策として在宅医療の促進・充実が挙げられています。当院も地域と連携した在宅医療に力を入れていく方針です。幸いにも地元医師会の在宅医療チームはしっかりした組織運営がされており、充実した在宅医療を提供し実績を積んでいます。在宅医療の分野においても患者さんを中心とした医療連携・機能分担は必要です。各々の医療チームが十分力を発揮できる様な連携が大切で当院もその一翼を担いたいと考えております。これからの在宅医療における連携は、お互い患者さんを紹介し合い医療を行うことに留まらず、在宅に係わる医療従事者の意識・技術の向上に努めなければなりません。北部病院と地域在宅チーム各々の特徴・医療技術を結集した、高い評価が得られる在宅医療を行いたいと考えております。そのためには新設する患者支援室の充実が不可欠です。

北部病院は急性期の医療を担う地域中核病院として成長してきましたが、予防医療にも力を入れております。開院以来行っている人間ドックへの皆様からの期待も大きく、多くの人々に毎年くり返しの受診を頂いております。そのためドックの受診に3ヶ月程お待たせしてしまう状況です。

このような状況を改善し、さらに多くの人々に利用して頂くため、現在あるドックを西棟2階に移転し、健康増進室として充実する予定です。今までのように落ち着いた環境を提供することに加え、当院のドックの特徴として胃の検査は胃カメラ（内視鏡）で行う検診とします。勿論苦痛のない安全な検査を心掛けます。さらに脳ドック、PET/CT、大腸内視鏡検査、乳がん検診、歯科ドックなどオプションもさらに充実させ、皆様に満足して頂ける施設・内容とします。

平成26年3月24日、4年の歳月を経て、江東区にあります昭和大学附属豊洲病院を近接地に新築移転します。（昭和大学江東豊洲病院）約400床の地域中核病院として誕生しますが、それに伴い当院からは皆様と慣れ親しんだ約50名の教職員が異動となります。多くの教職員が新病院に移りますが、当院としましては異動後、各部門の診療に支障のない様十分に配慮いたしますので御理解頂きたいと思っております。

このように今年は当院にとりまして大きな変革の年となると思われれます。さらに成長し続け地域と共に歩む病院でありたいと思っておりますので皆様の一層のご支援をよろしくお願い致します。皆様にとりまして平穏で良い年でありませうと祈っております。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

11月～12月

【新規採用】



雨宮 妃
(心臓血管カテテル室)
防衛医科大学校
平成16年卒



小谷 美帆子
(産婦人科)
帝京大学
平成16年卒

【学外研修終了】

- ・小鷹 紀子 (消化器センター)
- ・木村 真也 (麻酔科)
- ・竹原 雄介 (消化器センター)
- ・石井 源 (呼吸器センター)

異動 退職医師

11月～12月

【長期学外研修】

- ・加藤 憲 (内科)
- ・酒井 健 (救急センター)
- ・釋尾 知春 (麻酔科)
- ・中原 健太 (消化器センター)
- ・丹澤 盛 (呼吸器センター)

【退職】

- ・内田 美穂 (女性骨盤底再建センター)
- ・小川 雄一郎 (泌尿器科)
- ・浮洲 龍太郎 (放射線科)
- ・春日井 尚 (消化器センター)

診療統計

2013年10月～11月統計データ()内は1日平均

診療実日数 10月(入院:31日・外来:25日)、11月(入院:30日・外来:24日)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
10月	32,253人(1,290.1人)	17,711人(571.3人)	317件(10.2件)	679件(30.9件)
11月	28,841人(1,201.7人)	16,765人(558.8人)	323件(10.8件)	599件(30.0件)

患者さんへのお知らせ・お願い

面会時間変更のお知らせ

平成26年2月1日より、面会時間が以下の通り変更となります。詳しくは各病棟の掲示をご覧ください。

変更前：平日 11:00～13:00 16:00～20:00 休日 11:00～20:00

変更後：終日 11:00～20:00 ※ ICU,救急,4CD,西2,西3は現行通り

地域医療連携室からのお知らせ

昭和大学横浜市北部病院は**地域の中核病院**として

高度な医療を提供してくために地域の医療機関と役割分担を行っています。

そのため、患者さんに最適な医療を提供していくために「**かかりつけ医(ファミリードクター)**」を推奨しています。

また、病気の症状が安定した患者さんは服薬管理や生活指導をファミリードクターにお願いするため、再び紹介させて頂いております。

港北区・緑区・青葉区の先生方のプロフィールを順次ご紹介していきます。地域の医療機関の先生方の住所・診療時間・科目やドクターの人となり、得意分野などにもスポットをあてて紹介しています。“かかりつけ医”の情報源としてお役に立てれば幸いです。

(過去掲載分(都筑区の先生方)につきましては北部病院HPをご参照下さい。

<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/guide/pr/press/>)



※ご提出頂いた順で掲載しております。

内科／小児科／腎臓内科／リウマチ科

こどもの国線こどもの国駅、小田急線玉川学園前駅より徒歩15分

渡辺医院

青葉区奈良町1670-44

TEL: 045-962-8126

<http://www.watanabein.jp/>



院長 渡辺 励 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	◎	-	-
15:00～19:00	●	●	●	●	●	-	-	-

◎土曜日の午前は9:00～13:00

約16年間、昭和大学藤が丘病院にて腎臓内科医として勤務してまいりましたが、現在は腎臓内科の専門性を生かしながら地域に根ざした医療を目指しております。

～院長先生に一问一答～

- 座右の銘又はモットー: 地域の皆様に安心していただけるホームドクター
- 趣味/特技: スポーツ

呼吸器内科／アレルギー科

横浜市営地下鉄、東急田園都市線あざみ野駅より徒歩1分

あざみ野おさかベクリニック

青葉区あざみ野2-9-11

サンサーラあざみ野ビル3F

TEL: 045-902-3033

<http://www.osakabe.com>



院長 刑部 義美 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30～12:00	●	●	●	●	●	◎	-	-
15:00～18:30	●	●	●	-	●	-	-	-

◎土曜日の午前は8:30～12:30

アレルギー疾患(気管支喘息など)の研究と治療に力を入れ、昭和大学横浜市北部病院および昭和大学藤が丘病院の非常勤医8名で、大学病院レベルの診療を行っています。1人でも多くの患者様が喘息の苦しみから解放され、満足されてお帰りになれるように努力しております。

～院長先生に一问一答～

- 座右の銘又はモットー: 誠実
- 趣味/特技: ゴルフ

あおば胃腸内科クリニック

青葉区しらとり台2-107ジビル1F

Tel: 045-982-5080

<http://www.aoba-ichouka.jp>

院長 三芳 端 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	－	●	●	●	－	－
15:00～16:00	●	●	－	●	●	●	－	－

当クリニックでは、内視鏡学会認定専門医として苦痛を与えない胃内視鏡、大腸内視鏡検査を責任を持って行っています。毎年のガン定期診断をご希望される方、胃・大腸疾患・痔でお困りの方、お気軽にご相談ください。痔はできるだけ切らずに、必要であればALTA療法の日帰り手術を行っています。内科一般についてはホームドクターとして、どんなことでもご相談下さい。必要によってふさわしい病院へご紹介します。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー：人・生・誠実
- 趣味/特技：音楽、絵、写真

山田内科

港北区新横浜2-6-23-12F

Tel: 045-475-1580

<http://www.ymdmedcl.com>

院長 山田 充 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:45	●	●	●	●	●	●	－	－
14:00～17:45	●	●	●	◎	●	◎	－	－

◎木曜日、土曜日の午後は14:00～14:45

※金曜日のみ17:45～泌尿器科(完全予約制)

外来透析及び内科、健診を新横浜駅より徒歩5分のビルの内で、20年以上診療しております。血液透析の原因となる糖尿病、高血圧症、高脂血症、高尿酸血症等の患者さんを糖尿病専門医、腎臓内科専門医、血液内科専門医、泌尿器科専門医の先生方が診療しております。専門医をご希望の方はお電話で予約をなさってからご来院下さい。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー：患者さんの家族から笑顔が頂けるような医療を
- 趣味/特技：油絵、沖釣(横浜市医師会釣部部員)

新吉田医院

港北区新吉田町3622-3

Tel: 045-593-0127

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●	－	－
15:00～18:30	●	●	●	－	●	－	－	－

有資格者である、内科専門医、糖尿病専門医、リウマチ専門医の3名の医師が働いています。内科全般の外来診療のほか、病院との連携体制に力を入れ診療を行っています。



院長 東 澄雄 先生

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー：初心を忘れべからず
- 趣味/特技：テニス

いのもり脳神経外科クリニック

港北区北新横浜1-2-3三橋ビル2F

Tel : 045-533-2727

<http://inomori.jp>

院長 猪森 茂雄 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	－	●	●	－	－
14:30～18:00	●	●	●	－	●	－	－	－

当クリニックでは、頭痛・めまい・しびれなどの診断、治療はもとより、脳卒中予防の観点からMRI・MRA・頸動脈エコーを用いて早期発見・予防に努めています。

平本医院

緑区霧が丘1-24-3

Tel : 045-923-0868



院長 平本 明 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	－	●	●	－	－
15:00～19:00	●	●	●	－	●	◎	－	－

◎土曜日の午後は13:00～15:00

気軽に来られて、話がしやすい雰囲気を作ることを心がけています。こちらの意見を押しつけず、なるべく、来院された方の希望を尊重したいと思っています。自分の所では限界があれば、すみやかに然るべき医療機関にご紹介することも大切な役割と考えています。

緑十字クリニック

青葉区あざみ野2-19-10

Tel : 045-902-3220



院長 松下 功 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	－	－
14:00～18:30	●	●	●	●	●	◎	－	－

◎土曜日の午後は14:00～17:00

呼吸器喘息内科(指導医)、呼吸器外科(専門医)
糖尿病(指導医)、循環器(指導医)が在籍しています。

あおば皮膚科

青葉区桂子田3-1-1

Tel: 045-905-1666

<http://www.cutis.jp>

院長 湧川 基史 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:45～13:00	●	●	●	—	●	△	—	—
15:00～18:30	●	●	●	—	◎	—	—	—

◎金曜日の午後は15:00～19:00

△土曜日の午前は9:45～15:00

医師として、患者さんの為にベストの仕事をするのは当たり前のことです。ただし、患者さんが希望する医療がかならずしもベストであるとは限りませんし、医師が提示する治療方針が必ずしもその方にとってベストであるとも限りません。患者さんの病状だけでなく、その方の考え方や家庭や仕事などの社会的事情を汲みながらベストな治療方針を立てられるように心がけております。

～院長先生に一问一答～

■座右の銘又はモットー: 常に学び続ける

■趣味/特技: 読書、映画鑑賞

桂台内科クリニック

青葉区桂台1-21-6

Tel: 045-960-3877

<http://www.katsuradai-naika.jp/>

院長 藤澤 明子 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	—	●	●	—	—
15:00～18:30	●	●	●	●	●	—	—	—

当院は東急田園都市線青葉台駅よりバスで5分、桂台2丁目バス停前のクリニックです。

私は、循環器病(高血圧、心臓病、心不全、不整脈など)、生活習慣病(糖尿病や高脂血症)、老年病、呼吸器病を主に学んで参りましたが、ご自分の健康についての心配ごと、熱がある、どこか痛いなど、お困りのことの窓口になりたいと思っています。まずはご相談ください。

松本クリニック

青葉区市ヶ尾町518-1-101

Tel: 045-978-1166

<http://www11.ocn.ne.jp/~matsu/>

院長 松本 覚 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	—	●	●	●	—	—
15:00～18:00	●	●	—	●	●	—	—	—

眼科: 担当医 松本 覚(眼科専門医)

診療内容: 乳幼児から高齢者まで年齢、分野を問わず幅広く診療しています。

往診もおこなっています。詳細はお電話でお問い合わせください。

内科・神経内科: 担当医 松本 麻理(神経内科専門医)

診療内容: 風邪から高血圧症、片頭痛、パーキンソン病、脳卒中後の車椅子の方まで、身近な「かかりつけ医」として診療しています。午後は訪問診療で不在のことが多いので、電話で予約の上ご来院下さい。

高津内科医院

緑区十日市場町819-9-101

Tel: 045-989-3588

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～13:00	●	●	●	－	●	●	－	－
15:00～18:00	●	●	●	－	●	－	－	－

- ①在宅診療にて脳卒中後遺症、神経難病の治療に力を入れています。
- ②今まで治療困難とされてきた、アレルギー、自律神経失調症、関節痛、慢性疼痛、触れられない痛み(PHN、CRPS、三叉神経痛など)、脳出血後遺症のしびれ等の症状の治療が可能です。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー:瞬間消痛

■趣味/特技:

院長 高津 竜太郎 先生

産婦人科

東急田園都市線たまプラーザ駅よりバス2分

辻井産婦人科医院

青葉区美しが丘3-5-2

Tel: 045-901-7500

<http://www.tsujii-sanfu.jp/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	－	●	●	●	－
14:00～17:00	●	●	●	－	●	－	●	－

副院長の辻井孝と二人で、産婦人科一般、妊娠・分娩を取り扱っています。「家庭的な雰囲気大切に」と心掛けております。日曜日も通常どおり外来診療を行っております。



院長 辻井 信孝 先生

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー:

■趣味/特技:クラシック鑑賞、読書

内科

東急田園都市線藤が丘駅より徒歩1分

ムラヤマ内科クリニック

青葉区藤が丘1-28-17T-BOX藤が丘3F

Tel: 045-978-5152

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～13:00	●	●	●	●	●	●	－	－
15:00～18:30	●	●	●	●	●	－	－	－

平成15年より、東急田園都市線藤が丘駅徒歩1分の所に、内科クリニックを開業しています。昭和大学横浜市北部病院、最寄りの昭和大学藤が丘病院との連携体制のもの、消化器内科を専門に風邪や生活習慣病など、内科全般に対応しています。

患者さんの利便性を考え、平日休まず診療、親切、丁寧な対応を心がけ、分かりやすい医療を目指しています。



院長 村山 英行 先生

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー:親切な対応

■趣味/特技:

昭和大学横浜市北部病院では 2012 年 7 月に Quality Indicator(QI)委員会を立ち上げました。2013 年の公開を目標として、一般の方に理解されやすく、また医療の質向上に有益と考えられる指標を、(1)ストラクチャー、(2)プロセス、(3)アウトカム別、また部門ごとに検討してきました。

Donabedian (1919-2000)は 1966 年に発表した論文で『医療の質』は、

(1)ストラクチャー（構造）：施設、医療機器、スタッフの種類や数など

(2)プロセス（過程）：実際に行われた診療や看護の内容

(3)アウトカム（結果）：診療や看護の結果としての患者の健康状態

の 3 つの側面について評価できることを提唱しました。

一方、米国医学研究所（Institute of Medicine）によれば、医療の質とは「個人および集団に対する診療行為が望まれた健康状態をもたらす可能性の高さであり、かつ、最新の専門知識と合致する度合いをいう」と定義されています。「望まれた健康状態をもたらす可能性の高い、最新の専門知識と合致する医療」とは、根拠(エビデンス)に基づいた医療（Evidence-based Medicine ;EBM）に他ならず、医療の質とは、EBM に則った医療をどのくらい行っているかと言い換えることも出来ます。一方、実際の診断や治療の内容という専門技術的な質だけではなく、患者の満足度に代表されるような対人関係や快適さを中心に考えた医療の質も考えられます。

Quality Indicator(QI)とは具体的な医療体制、診療内容、診療結果から、このような医療の質を数値化した指標です。これを公表することにより、病院機能の定量的な可視化が可能となり、またこの指標をフィードバックすることにより客観的な指標に基づいて、医療の質の向上に取り組むことが出来ます。

これらの指標を継続的に検討することにより医療の質向上に努めるとともに、医学の進歩を反映する新たな指標の導入についても随時検討して行きたいと考えています。



◆川崎病の冠動脈病変合併率◆

川崎病は日本をはじめとする先進諸国における小児の後天性心疾患の原因として最も頻度の高い疾患であり、最近の日本における年間発症数は 10,000 人を越えています。

好発年齢は 4 歳以下の乳幼児であり、この年齢層のお子さんを持つご両親の関心は極めて高い疾患です。当院のこどもセンターでは、年間 30 名を越える川崎病の患児が入院し、その心臓後遺症発生率は小児循環器疾患を主たる診療領域の一つとするこどもセンターの医療の質を示す“outcome：結果”の指標と考えられます。冠動脈病変合併の予防には発症後 1 週間以内の治療が鍵となるため、この期間に入院した全川崎病患者に占める冠動脈病変を合併した割合を算出し、当院が提供できる高度医療の一つの指標としました。

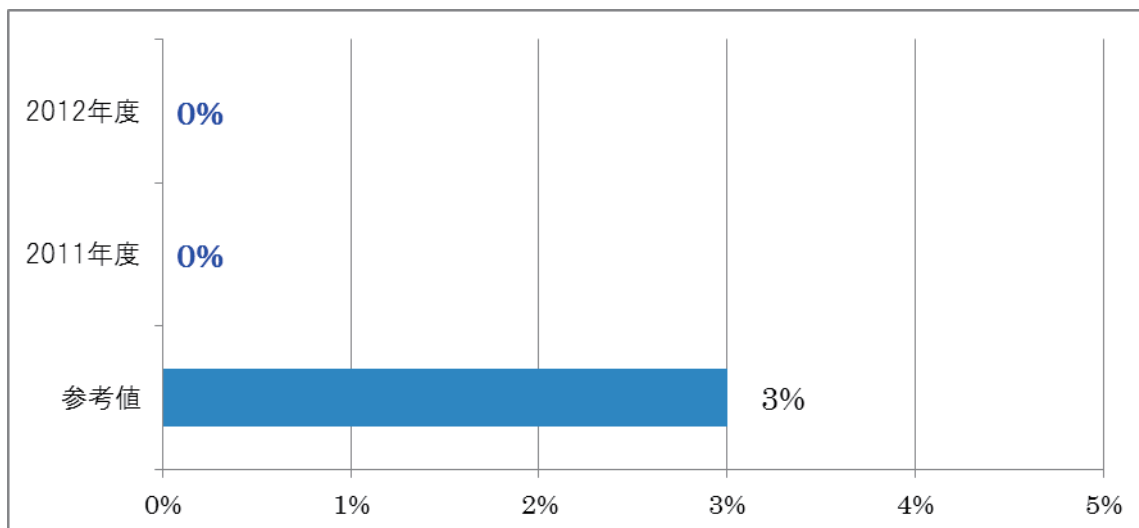
- 当院値の定義・算出方法

$$\frac{\text{【分子】 発症後 1 週間以内に入院し、退院時に冠動脈瘤を認めた川崎病の症例数}}{\text{【分母】 発症後 1 週間以内に入院した川崎病全症例数}} \times 100$$

単位
%

※上記はいずれも一年間の症例数とし、川崎病と冠動脈瘤の診断は、川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン（2008 年改訂版）http://www.jcirc.or.jp/guideline/pdf/JCS2008_ogawasy_h.pdf による

-年次推移-



※参考値

3%：第21回川崎病全国調査成績（2011年9月 特定非営利活動法人 日本川崎病研究センター 川崎病全国調査担当グループ）によるデータ

当院値をどうみるか？

2年に1回行われている川崎病全国調査の最新データ（2009年-2010年の2年間の患者を対象とした第21回川崎病全国調査）による急性期の冠動脈病変合併率は約3%であり、全国的なデータと比較しても極めて低い確率に抑制できていると考えられます。

合併症発症レベルの維持と治療の工夫

冠動脈合併症ゼロレベルの維持には川崎病の重症度評価と、重症度に応じた治療法の工夫が必須です。また輸液の管理をはじめとした、補助的な治療も重要です。

2011年度に引き続き、発症後1週間以内に入院した全川崎病における冠動脈合併率0%を達成することが出来ました。今後も、このレベルを維持できるように、治療法の工夫に努めていきたいと思っております。

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんより頂きましたご意見・ご要望に関しましては、関連する部署の責任者に報告し改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近多くいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
正面の回転扉は足の悪い方や幼児を連れた患者さんに不便だと思います。なぜ回転扉なのでしょう？	中央棟1階の外来待合エリアに風が吹き抜けるのを防ぐために、昨年より正面のドアを回転扉にいたしました。これにより、今のような寒い時期に室温が下がらないようになっております。また、回転扉付近には必ず警備員がおります。歩きづらい方はお手伝いさせていただきますので、遠慮なくお声かけください。

患者さんへのお知らせ・お願い

総合相談センター通信 vol.14 <<物忘れ外来看護相談のご案内>>

総合相談センターではご自宅での介護に関する相談も寄せられます。介護の相談の中でも特に“認知症”に関する相談が増えてきています。「物忘れが多くなった」、「自分の言うことを聞いてくれずに困っている」。そのため、どこにどうやって相談したらいいのかわからないなど、切羽詰まった状況で相談にみえるご家族もいらっしゃいます。そこで、当院では平成25年10月より当院のメンタルケアセンターの物忘れ外来に通院中の方を対象に「認知症看護認定看護師」による「物忘れ外来看護相談」を開設いたしましたので、ご案内致します。

認知症とは何か？

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞に変化が起こり、長い時間をかけて脳が萎縮(しぼむこと)したため様々な障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態を指します。単なる「もの忘れ」とは違って、れっきとした脳の病気です。一般的に認知症の兆候として以下の例が多く挙げられます。

- ・鍋を焦がしてしまったり、料理の失敗が増えてくる。
- ・失敗が多くなり言い訳をする。
- ・物の名前や人の名前が出てこない(あれ、それが多くなる)
- ・物を置き忘れる、探し物が多くなった。
- ・怒りっぽくなったり、服に気を使わなくなり、なんとなくだらしなくなる。



物忘れ外来看護相談について

対象の方：当院メンタルケアセンター物忘れ外来に通院中の患者さん、ご家族のみ

相談日：毎週月曜日の午前(事前予約制)

相談内容：当院の認知症病棟への入院についてのサポート

認知症による物忘れや、もの忘れ妄想・被害妄想などの対応方法についての助言

食事・排泄・睡眠等日常生活で困っていることなど、入院治療の必要性がある方を対象に

認知症看護認定看護師の立場から、具体的な対応策や助言を行っています。

※物忘れ外来看護相談の対象にならない方の相談は1階総合相談センターへご相談下さい。

※医師の診療をご希望の場合は「かかりつけ医」からの「紹介状」と「予約」が必要となります。

認知症看護認定 看護師とは？

様々な理由で認知症となっている患者さんの、生活の質や尊厳を尊重するためのケアを目標に活動しています。当院では認知症病棟(西3階病棟)で病棟スタッフの一員として、入院し治療を受けている患者さんに寄り添い、認知症による物忘れや被害妄想などの症状を軽減するための援助を行っています。

また、ご家族の悩みや不安が軽減できるよう、面会時など随時、ご質問への相談を行っています。

認知症看護認定看護師資格者



<佐藤 啓>



<伊藤 雄一郎>

TOPICS

看護部では産休・育休後の復職支援を推進する取り組みを始めました

平成 25 年度昭和大学統括看護部の方針を受け、当院でも復職者支援の充実と職場環境の整備を目標に今年 8 月から『産休・育休者のための復職支援プログラム』を使用し活動を開始しています。主な内容は、①産休育休前のオリエンテーション、②産休・育休中の支援（毎月「ピーチ便り」の発行・2 ヶ月毎の「ピーチ会」の開催など）③復職後の職場適応サポートの 3 点です。

10 月 8 日に第 1 回「ピーチ会」を行いました。「ピーチ会」は復職に向けての疑問や育児上の不安の解消、気分転換、ママさん同士の情報交換など交流の場としています。今回参加して下さったのは今年 2 月にママになったお二人で、サポートスタッフは助産師・育休後で時短勤務中の先輩看護職員・看護次長でした。リラックスした雰囲気の中で、ゲストのお二人の不安や疑問を確認しながら、復職に向けて必要な準備や保育所のこと、育児中の注意点・自己の健康管理・復職後の働き方など、色々な話題が語られました。参加して下さったお二人からは、気分転換ができ、参考になったと感想を頂きました。

今年度は 12 月 10 日と 2 月 4 日に開催予定です。



横浜市北部病院看護部

担当：立川京子



看護専門学校の学生がキャンドルサービスをおこないました

平成 25 年 12 月 17 日（火）、昭和大学医学部附属看護専門学校の学生たちによるキャンドルサービスが行われました。

西棟産科病棟からスタートし、西 2 階病棟・緩和ケア病棟・最後に小児病棟である 4B 病棟を訪れ、患者さんにクリスマスの雰囲気を少しでも味わっていただけるよう“きよしこの夜”や“もろびとこぞりて”の歌とともにキャンドルで病棟を照らしました。

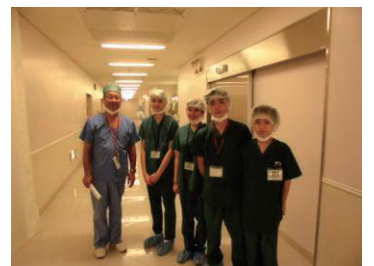


横浜市立東山田中学校の生徒が職業体験をおこないました

平成 25 年 11 月 26 日（火）から 28 日（木）、横浜市立東山田中学校の生徒 4 名が当院で職業体験をおこないました。

3 日間で 6 階病棟、検査部、栄養科、手術部、初診受付などでそれぞれ体験や見学をおこないました。また、最終日には各職種へのインタビューもおこない、「仕事をしていた嬉しかった事は?」「この職業に向いている人は?」などの質問をしていました。

実際に病院のスタッフと一緒に業務を体験し、話をしたことで、病院や医療に対して興味を持っていただけたようでした。



北部イベント

地域医療連携フォーラムを開催しました

11月29日(金)に、「第2回昭和大学横浜市北部病院地域医療連携フォーラム」を新横浜グレイスホテルで開催しました。この会は、地域医療機関等と当院との相互理解を深め、“顔の見える Face to Face の関係”を築くことを目的としています。

プログラムは、まず、講演会として、ラジオパーソナリティーで、昭和大学客員教授の高嶋秀武氏と、当院の工藤進英消化器センター長の2名に講演していただきました。高嶋氏は、「ラジオを通して見た名医の横顔」という演題で、番組を通して知り合った名医と呼ばれる方々との数々のエピソードなどをお話していただきました。また、工藤消化器センター長からは、「大腸がん診断と治療の最前線」という演題で、内視鏡による大腸がん治療などについて、海外での活躍を含めお話していただきました。

講演会に引き続き、診療科別のテーブルに別れて立食形式により懇親会を開催しました。各テーブルとも、たいへん賑やかに会話が弾んでいました。

参加者は、地域医療機関等 93 名、当院関係者 119 名で、懇親会などを通し、“顔の見える Face to Face の関係”の構築の一助となったものと思います。

今後とも患者さん、地域医療機関等、当院にとってよりよい地域医療連携を図っていききたいと思います。



高嶋秀武氏



工藤センター長

都筑区民まつりに参加しました

11月3日(祝)に開催された都筑区民まつりに北部病院も参加しました。

地域住民の方に“医療をより身近に知ってもらおう”と共に、“健康予防”を目的として、耳鼻咽喉科スタッフは「タバコの危険性、食の安全」、歯科スタッフは「噛む力(咀嚼・虫歯のリスク)」のテーマについて、それぞれパネル展示のブースを設け、タバコに関するクイズ、専用のガムを噛んで噛む力のテストなど、趣向をこらした内容で多くの方にご来場頂きました。



聴覚障害者の医療講演会を開催しました

11月16日(土)、当院西棟4階講堂におきまして、聴覚障害者の医療講演会を開催いたしました。今回の公開講座は『腰痛・膝痛と骨粗しょう症の対策』、『食の安全・空気の安全と人工内耳』の2テーマで、81名の方々にご参加いただきました。参加者からは、「テーマが食生活や身近な病気についてだったので興味深く、ためになった」、「生活習慣を改め、予防に努めようと思う」、「これからも聴覚障害者に向けた講演会を開いてほしい」といった感想をいただきました。平成26年度開催分につきましては、詳細が決まり次第、院内掲示・ホームページ等でお知らせ致します。



編集後記



紅葉の季節が訪れ、病院の隣の公園の木々も鮮やかに色づいたと思ったら、あっという間にそれらも色あせ、本格的な冬到来となりました。小生の地元の日本海側はこの時期毎日曇天が続き、晴れの日が極端に少なくなり、時に雷が鳴る日もあります。山間部の雪の多い地域は完全な冬籠り体制に突入します。反対に関東の冬の天候は素晴らしく、気温の高い日は十分に屋外スポーツも楽しむことができ、日常生活の活動性を維持することができます。この天候の利点を十分に利用し、温かい服装で無理をしない程度に運動を心掛けましょう。体にたまった余計な脂肪分はいろいろな病気の原因になりますから。しかし、一方で空気が乾燥しますのでインフルエンザや風邪をひきやすくなります。うがい、手洗いを励行し風邪をひかないように気を付け、外の清々しい空気を思い切り吸いましょう。

広報委員会 委員長 大越 章吾

北部病院だより 第81号

平成25年1月1日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 大越 章吾(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

T224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。